

一宮市 6 次産業化・地産地消推進協議会 報告書



138 マルシェの様子 (2024.4 夢織り広場)

2025 年 1 月

2024 年度「いちのみや野菜プロジェクト」活動報告について

「いちのみや野菜プロジェクト」は、一宮市6次産業化・地産地消推進計画【第2期】の計画期間に合わせて2019年度にスタートした事業で、「野菜の摂取を増やそう」「地元農産物を知って食べてもらおう」など、地産地消や地元農産物のPRを行っています。

ここでは、2024年度に「いちのみや野菜プロジェクト」として取り組んだ事業について報告します。

138 マルシェ

今年度も夢織り広場にて毎月第3水曜日に実施した。愛知西農業協同組合・一宮市女性農業者会議・尾張一宮4Hクラブの会員が野菜や加工品等を販売した。



おもてなしモーニング cafe

10月19日と10月20日に開催された、一宮モーニング協議会（一宮商工会議所）が主催する「おもてなしモーニング cafe」へ野菜を提供した。

10月19日には、修文学院高等学校の生徒が「SHUBUN Halloween morning」（3種類の鬼まんじゅう（さつまいもとかぼちゃ・枝豆とベーコン・じゃがいもとチーズとウインナー）、かぼちゃプリン）を販売した。メニューには、愛知西農協青年部から提供されたサツマイモと、一宮市女性農業者会議から提供されたカボチャ、エダマメが使用された。

10月20日には、一宮商業高等学校の生徒が「一宮香るベーグル&さつまッフル」（ベーグル、ペースト状のさつまいもを挟んだワッフル）を販売した。メニューには、愛知西農協青年部から提供されたサツマイモが使用された。

- 10月19日（土）修文学院高等学校



- 10月20日（日）一宮商業高等学校



一宮市 6 次産業化・地産地消推進計画【第 2 期】総括について

一宮市 6 次産業化・地産地消推進計画【第 2 期】(以下、第 2 期計画という。)は 2024 (R6) 年 3 月 31 日に計画期間を終了しました。(2019 (H31) 年度～2023 (R5) 年度の 5 か年計画。)

ここでは第 2 期計画の総括として、数値目標のある各指標の目標達成状況について報告します。

※達成状況は以下の 3 つに分類し、表記します。

◎：目標を達成

○：目標を概ね達成 (H31・R4・R5 年度の 3 か年累計目標の 8 割以上達成)

△：目標を未達成

【課題 1】農業を担う多様な農業者の人材育成

施策① 新規就農者や後継者の育成

指 標	上段：年度目標 下段：年度実績			上段：3 か年 累計目標 下段：実績	達成状況
	H31	R4	R5		
新規就農者人数	3	3	4	10	○
	2	3	4	9	

計画期間である 2019 (H31) 年度～2023 (R5) 年度で 13 名が新規就農しており、部会及び地域農業の将来を担う若手農業者として活躍している。

施策② 多様な担い手の育成

指 標	上段：年度目標 下段：年度実績			上段：3 か年 累計目標 下段：実績	達成状況
	H31	R4	R5		
生きがい農業 コース育成人数	90	70	70	230	○
	82	67	70	219	

コース卒塾生は、生産した野菜を産直広場に出品するなど地産地消に貢献している。

【課題 2】地産地消の推進と販売機会の拡大

施策③ 地産品を食べる機会の増加

指 標	上段：年度目標 下段：年度実績			上段：3 か年 累計目標 下段：実績	達成状況
	H31	R4	R5		
「一宮を食べる学校給食の日」実施回数	3	3	3	9	◎
	3	3	3	9	

2009（H21）年から始まった取り組みで、年に 3 回「一宮を食べる学校給食の日」を実施している。一宮市内で生産された「白菜」、「ねぎ」、「大根」などを使用した給食を提供した。

施策④ 食育の充実と地産地消意識の醸成

指 標	上段：年度目標 下段：年度実績			上段：3 か年 累計目標 下段：実績	達成状況
	H31	R4	R5		
提供地産品 による啓発人数	700	700	700	2100	△
	874	87	88	1049	

「あいちのかおり」のお米（愛知西農業協同組合から提供）及び米粉（株式会社名古屋食糧から提供）を一宮市の料理教室などで使用し、地産地消の啓発を行った。

2020（R2）年度から新型コロナウイルス感染症の影響で料理教室の中止が相次ぎ、目標値には届かなかったが、一宮市 6 次産業化・地産地消推進計画【第 3 期】でも引き続き取り組んでいく。

【課題 3】新たな取り組みによる収益性の確保

施策⑤ 新技術の導入と高付加価値化

指 標	上段：年度目標 下段：年度実績			上段：3 か年 累計目標 下段：実績	達成状況
	H31	R4	R5		
新技術導入と高付加 価値化への補助件数	3	3	3	9	◎
	6	4	4	14	

農業用ドローンや GPS を利用した ICT 田植え機など、新技術を使った機械等の導入補助を行い、スマート農業を推進した。

施策⑥ 6 次産業化や農商工連携の推進

指 標	計画時 H30	目標値 R5	最終値 R5	達成状況
6 次産業化 認定事業件数	4	5	4	△

制度の PR や紹介等を行ったが目標は未達成であった。引き続き周知や 6 次産業化希望者に対する支援をしていく。

【課題 4】農業に親しむ機会の増進と安心・安全なまちづくり

施策⑦ 農業体験イベント等の実施

指 標	上段：年度目標 下段：年度実績			上段：3 か年 累計目標 下段：実績	達成状況
	H31	R4	R5		
親子農業体験 参加世帯数	20	15	15	50	◎
	24	43	24	91	

愛知西農業協同組合主催の「親子農業体験」では、多くの世帯が田植えや収穫体験に参加した。

施策⑧ 環境に配慮する農業の推進

指 標	上段：年度目標 下段：年度実績			上段：3 か年 累計目標 下段：実績	達成状況
	H31	R4	R5		
GAP 研修会・ 勉強会開催回数	1	2	3	6	△
	1	1	1	3	

2021 (R3) 年 5 月にみどりの食料システム戦略が策定されたことを踏まえて、2022 (R4) 年度に環境保全型農業直接支払交付金の要件が「国際水準 GAP の実施」から「持続可能な農業生産に係る取組の実施」(みどりのチェックシートの取組) へ変更となった。これに伴い、GAP 研修会をみどりのチェックシートの取組についてのオンライン研修に変更した。

【第 2 期計画の総括】

本計画は新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント等の減少を受け、計画期間を 3 か年から 5 か年に延長しました。活動を制限しながらも継続して取り組みを行い、多くの消費者に地元農産物の啓発を行うなど、地産地消を推進し、目標を概ね達成して計画終了となりました。

しかし、地産地消に重要な地域農業を取り巻く環境は、生産費用の増加や農業者の高齢化など厳しさを増しているのが現状です。

一宮市 6 次産業化・地産地消推進計画【第 3 期】では、一宮市において農業を継続できる環境を整え、農業生産を持続的に発展させることで、生産量を維持、拡大し、消費者が地産品を購入できる機会を増やすことを主目的とし、引き続き 6 次産業化や地産地消を推進していきます。

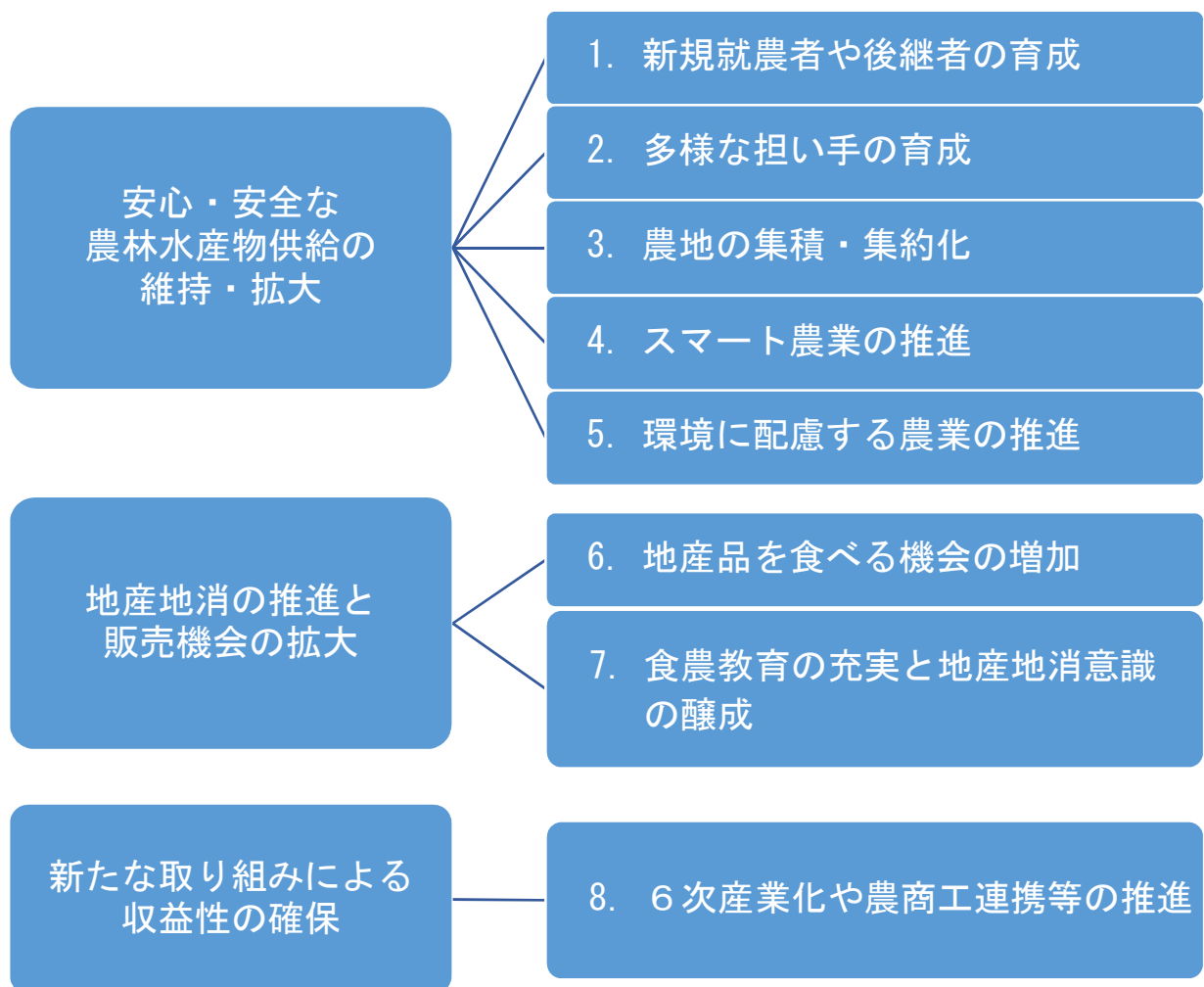
一宮市6次産業化・地産地消推進計画【第3期】進捗状況について

一宮市6次産業化・地産地消推進計画【第3期】（以下、計画という。）には、目標を達成するため、以下のような「基本方針」と「施策」が示されています。

この各施策1～8には具体的な事業が位置付けられ、その事業の中で数値として施策の進み具合を確認できるものを「数値目標」として掲げています。

計画の進捗状況を見るために、2024（R6）年12月末現在の実績について、数値目標を中心に報告します。

基本方針と施策



数値目標

安心・安全な農林水産物供給の維持・拡大

施策① 新規就農者や後継者の育成

指 標	計画策定時 2023 (R5)	現状 2024 (R6)	目標 2028 (R10)
新規就農者数	13 人 (直近 5 か年累計)	2 人	15 人 (5 か年累計実績)

2024 (R6) 年度は、はつらつ農業塾卒塾生が 1 名、その他研修機関での研修修了生が 1 名。

施策③ 農地の集積・集約化

指 標	計画策定時 2023 (R5)	現状 2024 (R6)	目標 2028 (R10)
農地集積率	11.5%	11.6%	14%

農地集積率とは、担い手への集積面積（特定農作業受委託面積と利用権設定面積の合計）を一宮市内の市街化調整区域の全農地面積で除した率。

施策⑤ 環境に配慮する農業の推進

指 標	計画策定時 2023 (R5)	現状 2024 (R6)	目標 2028 (R10)
環境保全型農業直接 支払交付金取り組み面積	4.2ha	5.9ha	8ha

一宮市では、3 団体がカバークロップや有機農業の取り組みを実施。

地産地消の推進と販売機会の拡大

施策⑥ 地産品を食べる機会の増加

指 標	計画策定時 2023 (R5)	現状 2024 (R6)	目標 2028 (R10)
産直会員数	1,200 人	1,250 人	1,400 人
「一宮を食べる学校 給食の日」実施数	3 回	3 回	3 回

施策⑦ 食農教育の充実と地産地消意識の醸成

指 標	計画策定時 2023 (R5)	現状 2024 (R6)	目標 2028 (R10)
提供地産品 による啓発人数	100 人	205 人	150 人

啓発人数とは、一宮市及び関係団体主催の、地産地消を推進する料理教室への参加人数の合計。2024 (R6) 年度は、農産加工研修会、こどもクッキングいちのみや、親子でやさしいクッキング教室を開催。

新たな取り組みによる収益性の確保

施策⑧ 6次産業化や農商工連携等の推進

指 標	計画策定時 2023 (R5)	現状 2024 (R6)	目標 2028 (R10)
6次産業化認定事業数	4 件	4 件	5 件